

年月日

24

08  
30

ページ

25

NO.

## 科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

(254)

### 地域格差に対処

シリコンバレーやボストンといったハイテク産業の集積地は、米国においてイノベーション活動が活発な地域として知られる。一方で、米国全体で見ると、これら一部の地域に人材やインフラなどのリソースが集中し、他の地域の活動は相対的に低調であることが課題となっている。こうした地域格差に対処し、国全体の研究開発能力や産業競争力の底上げにつなげるべく近年、連邦政府は地域における

イノベーションの推進に注力している。企業、非営利機関、自治体など関係者間の連携を強化しながら、イノベーション創出に向けた研究開発や人材育成、社会実装などを目指している。

NSFは、まず23年5月に、拠点作りに意欲を持つ地域を対象に、構想やネットワーク作りのための資金を現に向けて、大学、企業、非営利機関、自治体など関係者間の連携を強化しながら、イノベーション創出に向けた研究開発や人材育成、社会実装などを目指している。

### 大学の参画促す

## 活性化推進業 N S F、全米に拠点

科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター

長谷川 貴之



JST入職後、地域事業、情報事業、国際事業、日本学術振興会に出向などを経て、18年より現職。米国の科学技術政策動向調査を担当。

地域の社会課題解決や産業活性化に向けた取り組みの推進拠点を全国各地に構築するものだ。各地域が構想の実現に向けて、大学、企業、非営利機関、自治体など関係者間の連携を強化しながら、イノベーション創出に向けた研究開発や人材育成、社会実装などを目指している。

また、拠点活動の展開を支援するため、地域間の情報共有や外部投資の呼び込みを促進するプラットフォームに着目し、多様なテーマには、地域特有の気候や水に関する課題のほか、スマート農業、再生医療、繊維などが不可欠だ。NSFはこうした大学が、企

業や政府との連携や、普及を推進する商務省による分野が並ぶ。各拠点には、10年の長期に新規技術分野の人材育成などに新たに取り組定を結び、研究リソースやネットワークの共用など相乗的な事業推進を図っている。わが国でも地域創生に向けたイノベーションの推進は重要な課題であり、こうした動向を注視することは有益だろう。

さらに、技術の実証と重視する姿勢が浮かぶ。金曜日に掲載された、技術の実証と重視する姿勢が浮かぶ。（金曜日に掲載）

### NSF地域イノベーションエンジン（10拠点）

エンジン（拠点）名	
セントラルフロリダ	半導体イノベーションエンジン
コロラドーウィオミング	気候レジリエンス エンジン
五大湖地域	水イノベーションエンジン
ルイジアナ	エネルギー移行エンジン
ノースカロライナ	繊維イノベーション・持続可能性エンジン
ノースダコタ	先進農業技術エンジン
パソデルノルテ	国防航空宇宙イノベーションエンジン
ピードモント・トライアド	再生医療エンジン
サウスウエスト	持続可能性イノベーションエンジン
アップステート・ニューヨーク	エネルギー貯蔵エンジン

NSF資料を基にCRDS作成